

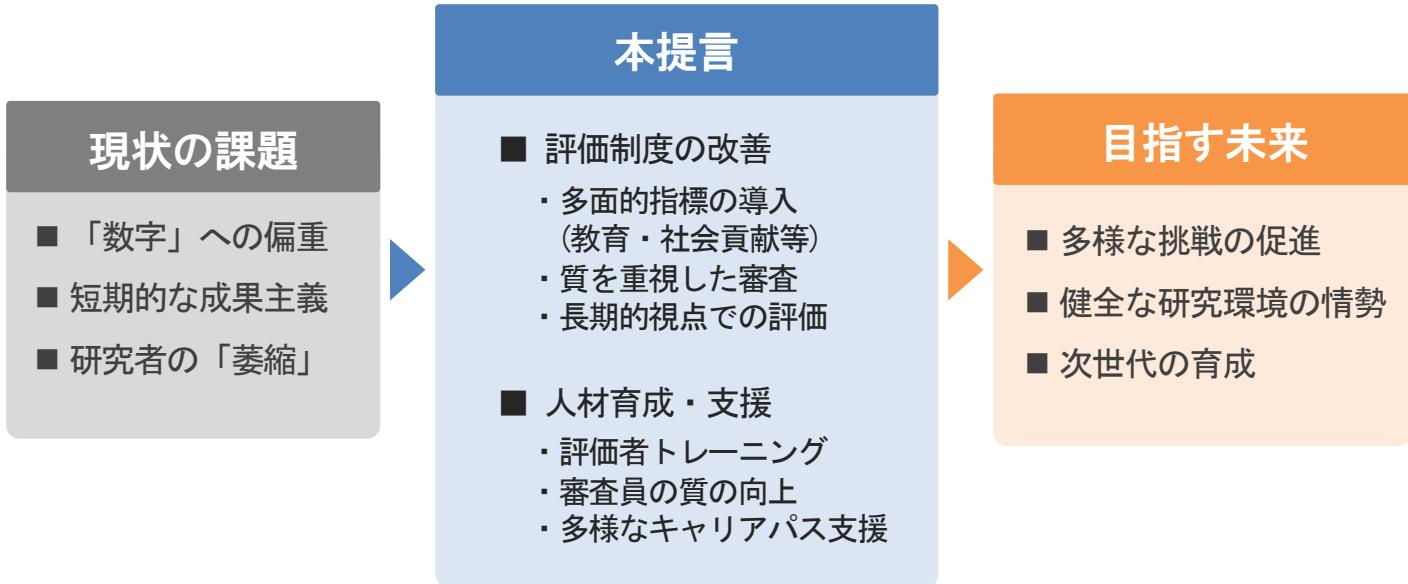


日本学術会議

SCIENCE COUNCIL OF JAPAN

『数』から『質』へ 研究力強化に向け一歩踏み込んだ提案

提言「研究の活性化へ向けた研究評価の具体的な改善方策」



現状の課題

近年、論文の数や引用された回数といった「数字」だけに頼る評価が、研究の多様性や新しい挑戦を難しくしていると言われています。

本提言

そこで、研究の目的や社会貢献といった多様な価値を測る指標の導入や評価者のトレーニングを踏まえて、改革の実装に向けた7つの具体的方策（二次元コード参照）を提案します。

目指す未来

研究者が萎縮することなく、挑戦的な課題に取り組める「健全な研究環境」と「文化」を取り戻すための、実践的なロードマップを示します。



提言の要旨・本文等は、こちら